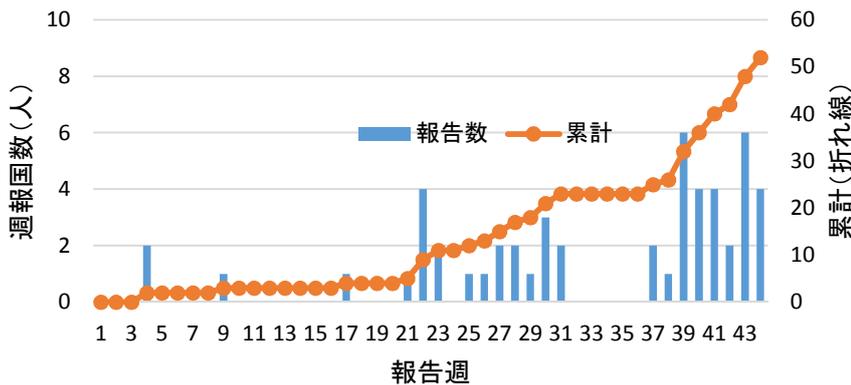


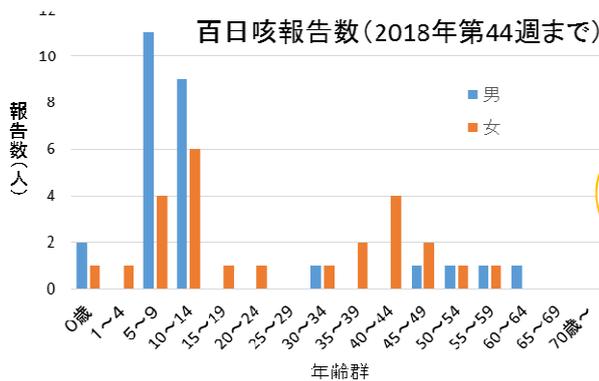
百日咳の報告数が増加しています

- 群馬県では第44週(10月29日～11月4日)までに届出累計が52人になりました。
- 一年を通じて発生が見られますが、第37週(9月中旬)以降連続して届出があり、特に利根沼田地域、渋川地域、太田地域などからの報告が多くありました。
- 年齢群別では、5～9歳及び10～14歳が多く報告されています。
- 全国では、第44週までに8,776人の届出がありました。

百日咳報告数の推移と累計(2018年第44週まで)



百日咳(第44週まで)



<咳エチケット>

- ①咳やくしゃみをするときには、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
- ②使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
- ③症状のある人は、マスクを正しく着用し感染防止に努めましょう。

◆ 百日咳とは

- 百日咳は百日咳菌による急性の呼吸器感染症です。患者の咳やくしゃみなどのしぶきによって感染します(飛沫・接触感染)。
- かぜ症状に続く激しい咳や長引く咳が特徴です。
- 周囲で百日咳の流行があり、咳症状が見られる場合には早めに医療機関を受診しましょう。

◆ 予防方法は？

- 予防接種が有効です。定期接種の対象者は予防接種(四種混合)を確実に受けましょう。
- 飛沫感染予防として、手洗い、うがい、咳エチケットを心がけましょう。